

新旧対照表

新	旧
<p>(P.59) 略 鉄道上下分離区間における路線維持及び利便性向上</p> <p>事業概要 上下分離区間である長崎本線(江北～諫早間)の路線維持及び利便性向上の方針について示す。</p> <p>具体的な内容 沿線地域の生活路線である長崎本線(江北～諫早間)については、線路等の施設の保有及び維持管理を行う、一般社団法人佐賀・長崎鉄道管理センターと列車の運行を担うJR九州が連携して運行の維持を図る。 佐賀、長崎両県は、列車の安全、安定運行のため、一般社団法人佐賀・長崎鉄道管理センターを支援するとともに、両県及びJR九州、沿線自治体は、地域住民の日常の移動手段の確保、地域資源を活用した交流人口拡大に向けた取組等を促進するため、鉄道事業再構築事業を実施し、利便性向上を図るとともに、持続可能な路線の構築に努める。</p> <p>実施主体、実施地域、実施期間 実施主体:長崎県、鉄道事業者 実施地域:県央地域(、佐賀県) 実施期間:令和5年度～令和13年度^{5,6}</p> <p>5 上下分離は令和4年9月23日に実施 6 鉄道事業再構築事業(鉄道事業再構築実施計画)の実施期間を令和13年度までとする予定であることから、地域公共交通計画の計画期間を超えて実施期間を定める。</p>	<p>(P.59) 略 鉄道上下分離区間における路線維持</p> <p>事業概要 上下分離区間である長崎本線(江北～諫早間)の路線維持の方針について示す。</p> <p>具体的な内容 沿線地域の生活路線である長崎本線(江北～諫早間)については、線路等の施設の保有及び維持管理を行う、一般社団法人佐賀・長崎鉄道管理センターと列車の運行を担うJR九州が連携して運行の維持を図る。 佐賀、長崎両県は、列車の安全、安定運行のため、一般社団法人佐賀・長崎鉄道管理センターを支援するとともに、両県及びJR九州、沿線自治体は、地域資源を活用した取組等を通じて、持続可能な路線の構築に努める。</p> <p>実施主体、実施地域、実施期間 実施主体:長崎県、鉄道事業者 実施地域:県央地域(、佐賀県) 実施期間:令和5年度～令和7年度</p>

(P.67)

表 5-1 実施施策まとめ

	施策・事業	実施期間			実施主体	地域							
		R5	R6	R7		西 彼 馬	長 崎 市	県 央	県 北	島 原 半 島	五 島	志 岐	対 馬
持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築	バス路線（幹線）に求められる役割や維持・確保の方針の設定				長崎県、市町、バス事業者	○	○	○	○	○	○	○	○
	バスロケーションシステムの導入、スマートバス停の導入等待合環境の整備				バス事業者	○	○	○	○	○	○	○	○
	市町を跨ぐ路線における乗り継ぎ環境の整備				バス事業者、鉄軌道事業者、タクシー事業者、市町、長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域鉄道の確実な維持				長崎県、市町、鉄道事業者		○	○	○				
	鉄道上下分離区間における路線維持及び利便性向上 ※本事業の実施期間はR5～R13				長崎県、鉄道事業者		○						
	鉄道駅におけるICカード決済の導入による利用者利便の向上				長崎県、鉄道事業者			○					
	離島航路の確実な維持				長崎県、市町、航路事業者	○		○		○	○	○	○
	離島航空路の確実な維持				長崎県、市町、航空路事業者		○			○	○	○	○
	バスと鉄道の機能・役割の最適化の検討				バス事業者、鉄道事業者、市町、長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○
	バス等の運転士や整備士等、地域公共交通の担い手の確保				バス事業者、タクシー事業者、鉄道事業者、長崎県、市町	○	○	○	○	○	○	○	○
自動車運転免許証自主返納者や高齢者等の移動手段の確保				市町、バス事業者、タクシー事業者	○	○	○	○	○	○	○	○	
長崎県MaaSの導入による県内周遊環境の整備				公共交通事業者、観光関係者、長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域との共創による最適な地域モビリティの推進	市町を跨ぐ幹線バス路線、フィーダー路線（支線）及び地域内路線維持のための県・市町の役割整理				長崎県、市町	○	○	○	○	○	○	○	○
	ニーズに応じた運行形態の効率化やコミュニティ交通への転換の検討				バス事業者、タクシー事業者、鉄軌道事業者、市町、長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域における最適な交通サービスの検討の推進				長崎県、市町、鉄道事業者、交通関係団体、利用者等		○		○				

(P.67)

表 5-1 実施施策まとめ

	施策・事業	実施期間			実施主体	地域							
		R5	R6	R7		西 彼 馬	長 崎 市	県 央	県 北	島 原 半 島	五 島	志 岐	対 馬
持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築	バス路線（幹線）に求められる役割や維持・確保の方針の設定				長崎県、市町、バス事業者	○	○	○	○	○	○	○	○
	バスロケーションシステムの導入、スマートバス停の導入等待合環境の整備				バス事業者	○	○	○	○	○	○	○	○
	市町を跨ぐ路線における乗り継ぎ環境の整備				バス事業者、鉄軌道事業者、タクシー事業者、市町、長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域鉄道の確実な維持				長崎県、市町、鉄道事業者		○	○	○				
	鉄道上下分離区間における路線維持				長崎県、鉄道事業者		○						
	鉄道駅におけるICカード決済の導入による利用者利便の向上				長崎県、鉄道事業者			○					
	離島航路の確実な維持				長崎県、市町、航路事業者	○		○		○	○	○	○
	離島航空路の確実な維持				長崎県、市町、航空路事業者		○			○	○	○	○
	バスと鉄道の機能・役割の最適化の検討				バス事業者、鉄道事業者、市町、長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○
	バス等の運転士や整備士等、地域公共交通の担い手の確保				バス事業者、タクシー事業者、鉄道事業者、長崎県、市町	○	○	○	○	○	○	○	○
自動車運転免許証自主返納者や高齢者等の移動手段の確保				市町、バス事業者、タクシー事業者	○	○	○	○	○	○	○	○	
長崎県MaaSの導入による県内周遊環境の整備				公共交通事業者、観光関係者、長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域との共創による最適な地域モビリティの推進	市町を跨ぐ幹線バス路線、フィーダー路線（支線）及び地域内路線維持のための県・市町の役割整理				長崎県、市町	○	○	○	○	○	○	○	○
	ニーズに応じた運行形態の効率化やコミュニティ交通への転換の検討				バス事業者、タクシー事業者、鉄軌道事業者、市町、長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域における最適な交通サービスの検討の推進				長崎県、市町、鉄道事業者、交通関係団体、利用者等		○		○				